

「新型コロナウイルス」感染症のまん延に対する対策（追加2、一部改訂）

新型コロナウイルスによる感染症について、当初の対策の重点としていた2週間を過ぎ、なお、集会などの自粛が求められています。

そこで、考えられる様々なリスクを避けるため、先の注意喚起（2020年2月21日付）とともに、当面の対策（2/26付）を継続し、復活祭までの具体的事柄をここに定めます。

1 3/22、3/29、4/5、4/19、4/26の主日礼拝は、夕礼拝の式次第に準じて行う。（礼拝式の一部省略、補式者なし）

4/5については、任職式は割愛。聖餐礼典は執行しない。

4/12については、復活祭の式次第で行う。

2 3/22、3/29、4/5、4/12の主日夕礼拝は休会とする。

3 3/22、3/29、4/5、4/19、4/26の主日子ども礼拝についても、同様の配慮をする。（礼拝式の一部省略、補式者なし）

4 4/12の復活祭については対策を講じた上、オール西新井主日礼拝とする。（主日子ども礼拝はオール西新井主日礼拝に合流）

対策を講じた上で、聖餐礼典を執行する。

イースター愛餐会は行わない。

主日礼拝前の教会学校エッグハントは中止。

復活祭早天礼拝についても中止とする。

5 3/22、3/29、4/5、4/19、4/26の教会学校については、分級、成人科は行わない。（子ども礼拝終了後、礼拝堂で出席確認などを行う）

6 聖週（受難週）の4/9聖木曜日、4/10聖金曜日の礼拝は、対策を講じた上で行う。

4/9については、対策を講じた上で、聖餐礼典を執行する。

7 聖書・讃美歌の貸し出しは行わない。（別途手段を講じます）

礼拝前後、ドアノブ、手すり、ベンチ、備品等の消毒清掃を行う。

8 4/9の「教会ひろば」は中止、4/26の「墓前礼拝」は秋に延期する。

9 その他、礼拝以外の集会は中止とします。

ただし、葬儀については、充分に対策の上、行います。

10 事態の推移によっては、礼拝における讃美、唱和の休止、また、礼拝の開催そのものの休止の可能性をも考慮する。

11 5月以降については、事態の推移をみて判断する。

12 以上の対策にかかわらず、体調がすぐれないとき、不安を覚えるときは、無理に主日礼拝出席をせずに、自宅で、日課に基づき聖書を朗読し、祈りの時を持つようによしてください。

2020年3月15日（29日一部改訂）四旬節

日本基督教団西新井教会

主任牧師 林 牧人

教会幹事会

「新型コロナウイルス」感染症のまん延に対する対策（追加）

新型コロナウイルスによる感染症の拡大と重篤な症例が報告されるに至り、厚生労働省の専門家会議から具体的な見解が示されました。感染が拡大する時期にあつて、国の専門家会議は、今後、1～2週間が感染拡大のスピードを抑えられるかどうかの瀬戸際だという見解を示し、大多数が集まり濃厚な接触の可能性のある集会などの自粛が求められています。

そこで、考えられる様々なリスクを避けるため、以下のように対応を定めましたので、先の注意喚起（2020年2月21日付）とともに、当面の2週間余（2/27～3/15）までの具体的な対応をここに定めます。

- 1 3/1の聖餐礼典執行は中止する。
その他、期間中、公開の場での聖礼典執行は行わない。
- 2 3/1、3/8、3/15の主日夕礼拝は休会とする。
- 3 3/1、3/8、3/15の主日礼拝は、夕礼拝の式次第に準じて行う。
（礼拝式の一部省略、補式者なし）
- 4 3/1、3/8、3/15の主日子ども礼拝についても、同様の配慮をする。
（礼拝式の一部省略、補式者なし）
- 5 3/1、3/8、3/15の教会学校については、分級、成人科は行わない。
（子ども礼拝終了後、礼拝堂で出席確認などを行う）
- 6 聖書・讃美歌の貸し出しは行わない。
（別途手段を講じます）
- 7 礼拝前後、ドアノブ、手すり、ベンチ、備品等の消毒清掃を行う。
- 8 3/12の「教会ひろば」は中止とする。
- 9 その他、礼拝以外の集会は中止とします。
ただし、葬儀については、充分に対策の上、行います。
- 10 事態の推移によっては、礼拝における讃美、唱和の休止、
また、礼拝の開催そのものの休止の可能性をも考慮する。
- 11 大きな状況の変化がない限り、3月15日より後には、通常に復帰する予定。
ただしその場合も、先の注意喚起に留意してください。

12 以上の対策にかかわらず、体調がすぐれないとき、不安を覚えるときは、無理に主日礼拝出席をせずに、自宅で、日課に基づき聖書を朗読し、祈りの時を持つようになしてください。

以下、カトリック東京大司教区の菊池大司教の使信より引用します。

(一部、教団西新井教会の言葉遣いにあわせて変更しています)

わたしたちは祈りの力を信じています。病気が蔓延したからといって祈りを止めることはありません。感染に対応する様々な手段を講じる中に霊的な戦いをも含めていなければ、この世界に教会として存在する意味がありません。

「私の記念としてこれを行え」と命じられた主の言葉を思い起こすとき、聖餐礼典を中止にすると言うことは、霊的な敗北のように見えてしまいます。だからこそ、この危機に直面している時代には、通常以上に様々な祈りを捧げなければなりません。聖餐礼典の中止は敗北ではなく、祈りの持つ力を改めて認識し、祈りによって霊的に深めるための機会でもあること、また祈りの力を改めて認識する機会でもあることを心にとめたいと思います。

信仰におけるいのちへの希望を掲げながら、愛といつくしみの心を持って、感染した方々の回復と事態の收拾を、父である神に祈りましょう。

2020年2月26日 灰の水曜日

日本基督教団西新井教会

主任牧師 林 牧人

教会幹事会

(尚、この文書は、日本カトリック教会東京大司教区菊池大司教による「新型コロナウイルス感染症に伴う、公開のミサ中止について」(2020年2月25日)を参照しています)

「新型コロナウイルス」感染症のまん延に対する注意喚起

新型コロナウイルスによる感染症発生が報じられ、国内でも感染事例が公表されています。同感染症をめぐる、不確かな情報に基づいて、いたずらに不安をあおるようなことは避けなければなりません。感染予防への備えは不特定多数の方が集まる教会に於きましては不必要とは思えません。

つきましては、教会内外の人の健康を祈り、より良い行動をとられるよう、当面の間、以下のことを心に留めてくださるようお願い申し上げます。

- 1 礼拝中はマスク着用のみでかまいません。また、入手可能な方は、できる限りマスクをご着用ください。
- 2 礼拝堂に入るときには、受付にある手指消毒用のアルコールをご利用ください。
- 3 咳、発熱、呼吸困難の場合や、37度5分以上の発熱など、風邪の症状がある時は、礼拝への出席は控えるようにしてください。その他の体調不良の場合も、無理をせず、自宅に留まり、主日礼拝の時間にあわせて祈りと黙想の時を持ってください。
- 4 聖餐礼典は、細心の注意を持って執行いたしますので、心配なく陪餐してください。司式者、サーバー（助餐者）など、パンと杯を扱う者は、手指消毒と十分な手洗いを持つて臨むようにします。
- 5 聖餐礼典は、多くの陪餐者がパテン（パン皿）やチャリス（杯）に手を伸ばして受け取る形は避け、司式者と助餐者がパテンとチャリスを持ち、司式者がパンにぶどう液をわずかにつけて陪餐者の手に置くこととします。
- 6 「平和の挨拶」や礼拝後の挨拶において、握手等は避けるようお願いいたします。

今後も推移を見守りますが、行政から集会自粛要請があった場合はそれに従い、対応を定めることとなります。

尊い命を失った方々の魂の平安、感染した方々の回復と感染の収束を切に祈ります。

2020年2月21日

日本基督教団西新井教会

主任牧師 林 牧人

教会幹事会

（尚、この文書は、日本カトリック教会東京大司教区菊地大司教による「注意喚起」（2020年1月31日）、また、日本聖公会東京教区高橋主教による「主教教書」（同2月6日及び21日）を参考に、日本基督教団西新井教会における実際と言葉遣いに合わせて編集しました）